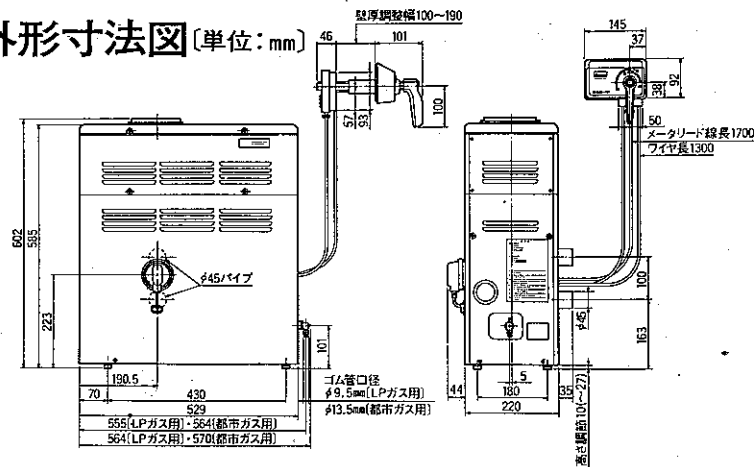


## ■外形寸法図 [単位: mm]



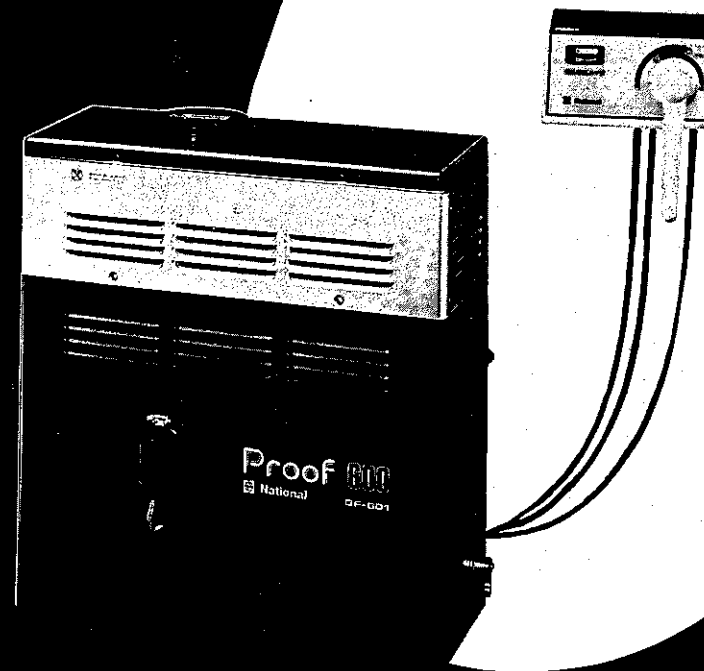
## ■アフターサービス

- (1) 保証書(別に添付してあります)  
 保証書は販売店からお渡し致しますから、必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間 — お求めの日から1年間です。
- (2) 8ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に従って調べていただき、なお異常のあるときには、必ずガス元せん・給水元せんを閉めてから、お求めの販売店にご連絡ください。保証書の記載内容により、販売店が修理致します。
- ＜連絡していただきたい内容＞
- ご住所・ご氏名・電話番号
  - 製品名・品番・ご購入日(保証書をご覧ください)
  - 故障内容・異常の状況(できるだけ詳しく)
  - 訪問ご希望日
- (3) 保証期間経過後、修理を依頼されるとき  
 お求めの販売店に、まずご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理致します。
- (4) 補修用性能部品の最低保有期間  
 ガスふろがまの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- (5) 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点は  
 お求めの販売店、または最寄りの「ご相談窓口」(別紙一覧表ご参照)にお問い合わせください。
- (6) ガスの種類の異なる地域へ転居されるとき  
 ガスの種類は、LPガス、都市ガス(都市ガスには14種類あります。)があります。ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は保証期間内でありましても有料です。

## 取扱説明書 (工事説明書別添)

ご使用前にこの説明書と別冊の「工事説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■保証書(別添)はお求めの販売店からお受取りのうえ、内容をよくご確認いただき、後々のためこの説明書とともに大切に保存してください。



松下電器産業株式会社  
 松下住設機器株式会社 ガス機器事業部  
 〒639-11 奈良県大和郡山市筒井町80-0番地  
 電話 大和郡山 (07435)-6-1121(大代表)



「このたびはナショナルガスふろがまをお求めいただきまして、まことにありがとうございました。」

## 目次

■特に注意していただきたいこと	1
■各部の名称	4
■器具の設置	5
■使用方法	6
■安全装置が作動したときの処置方法	7
■日常の点検・手入れ	7
■故障・異常の見分け方と処置方法	8
■長期間使用しない場合	9
■仕様	9
■外形寸法図	10
■アフターサービス	10

## ■特に注意していただきたいこと

### ■使用ガスについてのご注意

- 器体(ガスマークまたは銘板)に表示してあるガス(ガスグループ)以外では使用しないでください。  
[注] 銘板はLPガスの場合はバーナー機構部に、都市ガスの場合は器体正面に貼ってあります。

[注] この部分を必ずご確認ください。

(ガスマーク)

LPガス用

(銘板)

ガスふろがまバーナー		ガスバーナー付ふろがま	
型式名	GF-801(P)	型式名	GF-801(G)
ガス区分	NQ-GF-801	型式名	都市ガス用
LPガス用		ガス区分	
ガス消費量	1.0 kg/h	ガス消費量	
	NQ	設置方式	置入用
			NDK

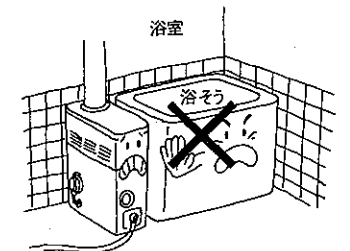
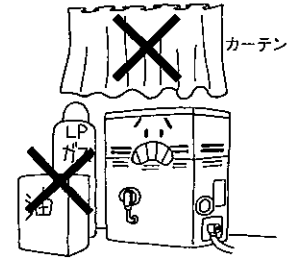
LPガス		都市ガス	
ガスグループ	4A・4B・4C	5A・5AN・5B・5C	6A・6B・6C・7C
ガスグループ	11A・12A・13A		

### ■市販の補助用具使用についてのご注意

- この器具用の付属品、補助用具以外は使用しないでください。  
(不完全燃焼などの原因になります)
- 市販の湯ざめ防止器、または簡易シャワーセットなどを取り付けて使用しないでください。  
(不完全燃焼や異常燃焼などの原因になります)

### ■使用場所についてのご注意

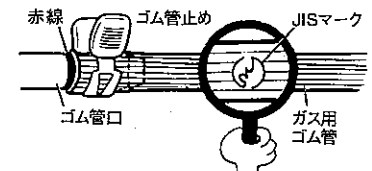
- 強い風が吹き込むところでは使用しないでください。  
(風で火が吹き消えることがあります)
- たなの下など落下物の危険のあるところでは使用しないでください。
- カーテンや燃えやすいもののそばでは使用しないでください。
- 家具、壁、その他の可燃物から十分離して使用してください。  
(詳しくは5ページをお読みください)
- ふろがまは水平なところに置いて使用してください。  
(傾斜しているとかま鳴りの原因になります)
- ふろがまを浴室内には絶対に取り付けしないでください。  
(不完全燃焼などの原因になります)



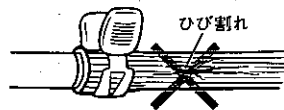
### ■使用上のご注意

#### (1) ガス漏れ予防

- ゴム管はガス用ゴム管(JISマーク、または年号の入っているもの)を使用し、ビニル管は絶対に使用しないでください。  
(ビニル管は弾力性がなく熱にも弱いです)
- ゴム管はゴム管口の赤線まで差し込み、ゴム管止めでしっかり止めてください。
- ゴム管はできるだけ短め(2m以下)にお使いください。また、折れ、ねじれ、引張りなどのないようにしてください。

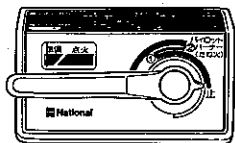


- ひび割れしたり、差し込み口がゆるんでいるゴム管は、必ず取り替えてください。  
なお、半年に1回は点検してください。

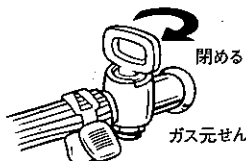


- ゴム管は器具に触れたり、器具の下を通したりしないでください。

- 使用後は、必ずリモコンハンドルを「止」の位置までいっぱいにもどし、消火したことを確かめてください。

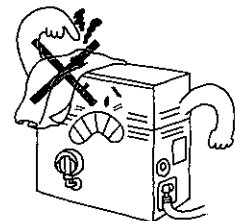
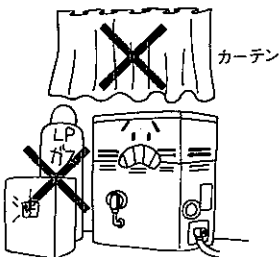


- お出かけやお休みの際には、必ずガス元せんを閉めてください。



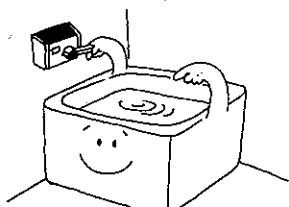
## (2) 火災予防

- ふろがまの上や、周囲には燃えやすいものを置かないでください。
- 排気口の上にタオル・ふきんなどをのせないでください。
- 衣類の乾燥などに使用しないでください。  
(衣類が落下して、火がつき火災になるおそれがあります)
- 使用時の点火・消火のほか、使用中には時どき正常に燃焼していることを確かめてください。
- 火をつけたままの就寝・外出は絶対にしないでください。



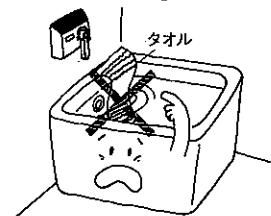
## (3) 過熱防止

- 浴そうに水が入っていることを確かめてから点火してください。
- 浴そうの循環口はタオルなどでふさがないようにしてください。



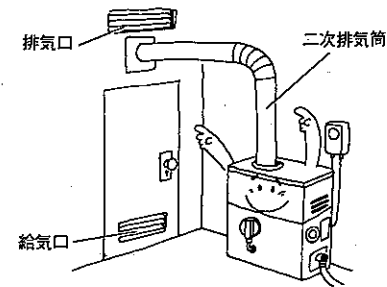
## (4) 火傷にご注意

- ふろがまの使用中小および使用直後は、器体は高温になっていますので、絶対に手を触れないでください。



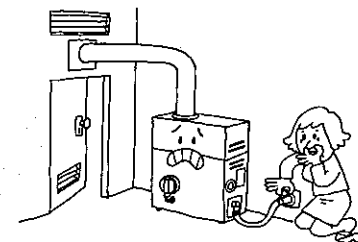
## (5) 換気にご注意

- ふろがまを屋内に設置する場合、必ず換気口(給気口・排気口)、および二次排気筒を取り付けてください。
- 換気口(給気口・排気口)の周りを物などでふさがないようにください。



## (6) ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、すぐガス元せんを閉め、窓や戸を全部開けて、お求めの販売店かガス会社に連絡してください。
- [注] 万一ガス漏れしたときは、電気のスイッチの「入・切」や、マッチ・ライターの使用は爆発の危険性がありますので絶対に避けてください。



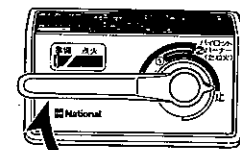
## (7) 凍結についてのご注意

(暖かい地域でご使用のお客様も必ずお読みください)

- 冬期にふろがまをご使用の場合、ふろがま内の湯がさめて凍結し、異常をおこすことがありますので、浴そうの湯は使用したその日のうちに抜いてください。

## (8) 異常時の処置

- 万一、異常をおこしたときや、緊急の場合、あわてずにリモコンハンドルを「止」にし、ガス元せんを閉めて、お求めの販売店かガス会社に連絡してください。



## (9) 健浴剤や洗剤についてのご注意

- 硫黄・酸・アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は、熱交換器が腐食する原因となりますので使用しないでください。



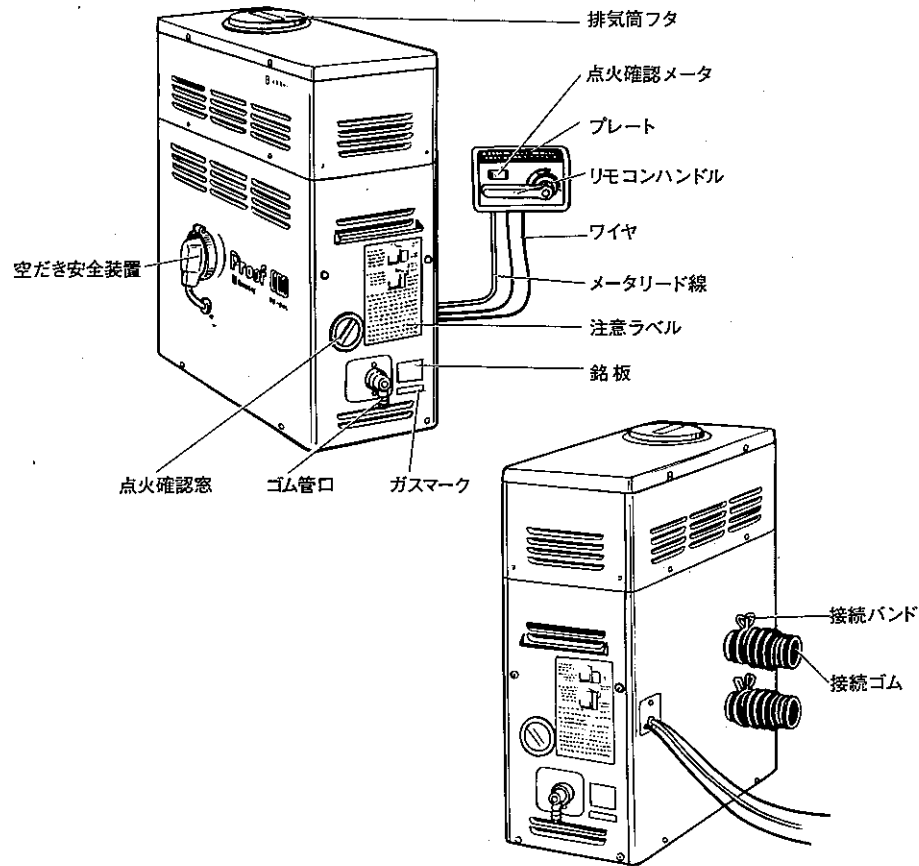
## ■日常の点検・手入れ

- 日常の点検・手入れは、必ず行なってください。(詳しくは7~8ページをお読みください)
- 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。万一、具合が悪くなって処置に困るような場合はお求めの販売店に修理を依頼してください。

## ■器具の設置について

- 器具の設置はお求めの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用してください。
- 正しく設置されているか確認してください。(詳しくは5ページをお読みください)

## 各部の名称



### ■付属部品 下図の付属部品を本体と一緒に同梱しています。

部品名	形状	数量	部品名	形状	数量
循環			リモコン		1
環	接続ゴム	2	φ4×20 木ねじ		2
部	接続バンド	4			

【注】●上図の付属部品が入っているか確かめてください。

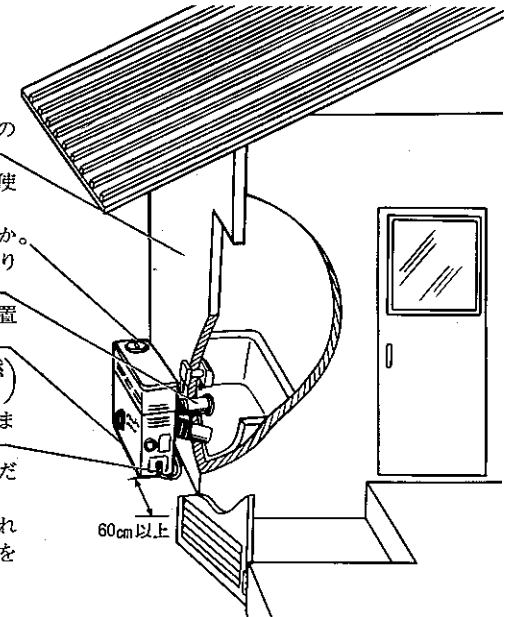
●リモコン部には予備用のカセット固定ピン1本と結束バンド2本が入っています。

## 器具の設置

- 器具の設置はお求めの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置してください。
- 設置例のように正しく工事が行なわれているか確かめてください。

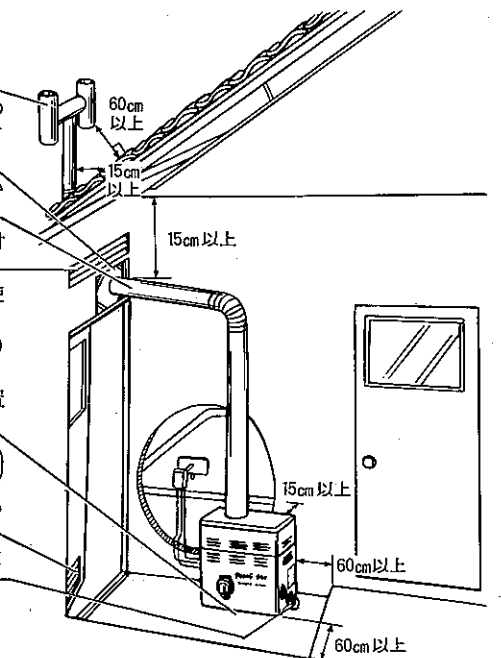
### 屋外設置例

- 壁は、コンクリート、ブロックなどの不燃材が使われていますか。
- LPガスの場合50kg型のガス容器が使われていますか。
- 排気筒フタは取り付けられていますか。
- 循環パイプは浴そうに向かって末広がりになっていますか。
- ふろがまが木台などの可燃材の上に置かれていませんか。  
(必ず水平なコンクリートなどの不燃材の上に置いてください。)
- ゴム管は、ゴム管止めで止めてありますか。
- ふろがまのまわりをかこわないでください。
- 積雪で給気口および排気口がふさがれるおそれがあるときは、防雪の設備を行なってください。



### 屋内設置例

- 逆風防止が取り付けられていますか。
- 二次排気筒の周囲は10cm以上の厚さのめがね石などの熱絶縁体で熱絶縁されていますか。
- 煙突の横引きが上がり勾配になっていますか。
- 120cm<sup>2</sup>以上の換気口(排気口)が取り付けられていますか。
- LPガスの場合50kg型のガス容器が使われていますか。
- 循環パイプは浴そうに向かって末広がりになっていますか。
- ふろがまが木台などの可燃材の上に置かれていませんか。  
(必ず水平なコンクリートなどの不燃材の上に置いてください。)
- 120cm<sup>2</sup>以上の換気口(給気口)が下にも付いていますか。
- ゴム管は、ゴム管止めで止めてありますか。
- ふろがまのそばには何も置かないでください。



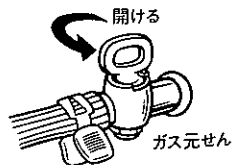
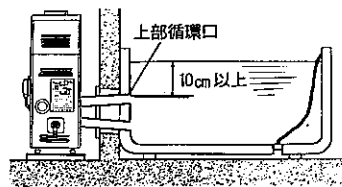
## ■使用方法

### ■点火前の準備と確認

- 浴そうの排水せんを確実に閉め、水を上部循環口上端より10cm以上入れてください。

【注】

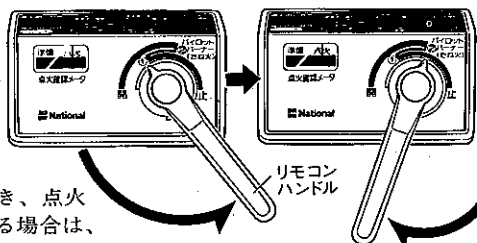
- 空だき安全装置付きですので、水を上部循環口より10cm以上入れないと点火しません。
- 排水せんからの水漏れは消火、水面が低い場合は異常過熱などの原因になります。
- リモコンハンドルが「止」の位置にあることを確認したのち、ガス元せんを全開にしてください。



### ■点火

#### ●パイロットバーナー(たね火)の点火

リモコンハンドルを「①」へ止まるまで回し、回した方向に力を加えたまま点火確認メータの針が「点火」位置に達しているのを確かめたのち、「②」の位置までもどしてください。



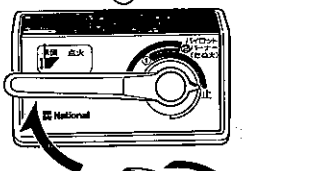
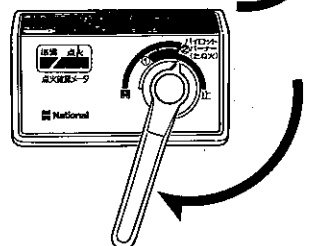
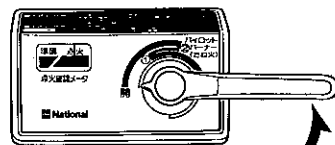
【注】リモコンハンドルから手を離れたとき、点火確認メータの針が「準備」位置にもどる場合は、点火操作を繰り返してください。

#### ●メインバーナーへの着火

リモコンハンドルを「開」の位置までいっぱいに戻しますと、メインバーナーに火がつきます。

【ご注意】必ず「②」の位置、または「開」の位置で使用してください。

(中間で使用しますと、異常燃焼のおそれがあります。)



### ■消火

#### ●メインバーナーの消火

リモコンハンドルを「②」の位置にもどしますと、メインバーナーの火が消えます。

【注】パイロットバーナー(たね火)だけが燃え続けます。

#### ●パイロットバーナー(たね火)の消火

リモコンハンドルを「止」の位置までいっぱいにもどしますと、パイロットバーナー(たね火)は消えます。

- 入浴後は、必ずガス元せんを閉めてください。



## ■安全装置が作動したときの処置方法

### ■処置について

リモコンハンドルで点火操作をしても、パイロットバーナー(たね火)に点火しなかったり、使用中にメインバーナーが消火してしまったときは、次の方法、ならびに8ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」により処置してください。

### ■パイロット安全装置

- 使用中、万一パイロットバーナー(たね火)の炎が風などで消えた場合や、ガスの供給が止まったときには、パイロット安全装置が働いて自動的にガスが止まります(約1分後)ので、そのままでは使用できません。
  - パイロットバーナー(たね火)の消火に気づいたときは、すぐにリモコンハンドルを「止」の位置までいっぱいにもどしてください。
  - 再点火されるときは、器具内に残ったガスが十分排出されるのを待ってから(約15分後)、注意して点火操作を行ってください。
- 【注】すぐに点火操作しますと爆発着火のおそれがあります。

### ■空だき安全装置

- 浴そう内に水がないと空だき安全装置が働いて点火しません。水を上部循環口上端より10cm以上入れて点火してください。(6ページの「使用方法」点火前の準備と確認の図参照)
- 排水せんなどからの水漏れにより、浴そう内の水が減ったとき、浴そう内の水圧を感じて空だき安全装置が働いてパイロットバーナー(たね火)、およびメインバーナーの火が消えます。再点火されるときは、排水せんなどから水漏れしていないか確認してから水を上部循環口上端より10cm以上入れて点火してください。

### ■過熱防止装置

- 使用中、器具に異常が生じ、器具内の温度が異常にあがったとき自動的に過熱防止装置が働いてパイロットバーナー(たね火)、およびメインバーナーの火が消えます。
- 使用中、自動的にパイロットバーナー(たね火)、およびメインバーナーの火が消えたときは8ページの故障・異常の見分け方と処置方法の項により処置してください。

## ■日常の点検・手入れ

### ■点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れについては、次項の点検・手入れを行ない、もし異常を見付けられたら、お求めの販売店に修理を依頼してください。
- 点検・手入れの前には、必ずガス元せんを閉め、器具が冷えてからお手入れをしてください。
- 安全装置、およびガスの通路部分は絶対に分解しないでください。

### ■点検

- 器具のまわりに燃えやすいものはありませんか。
- ふろがまの下、周囲などに、ちり・ほこりがたまっていませんか。
- ゴム管が古くなってひび割れしたり、器具に触れたり、器具の下を通したり、折れたりしていませんか。またゴム管はガス元せんやゴム管口の赤線まで差し込んであり、ゴム管止めでしっかり止められていますか。

- 二次排気筒がはずれていたり、損傷したり、詰まったりしていませんか。
- 給気部・排気部がススけて、黒くなっていませんか。
- メインバーナーが赤火燃焼していませんか。
- リモコンハンドルを回したとき、プレートがリモコンハンドルと一緒に回りませんか。
- ワイヤの張りの遊びが大きくありませんか。  
(正常なワイヤの張りの遊びは1~2mmです)  
(工事説明書11ページの(8)「ワイヤの張り調整」の項参照)

### ■お手入れ

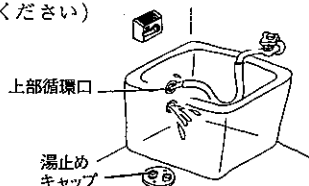
#### ●外観のお手入れ

ふろがまの外観、および周囲などにちり・ほこりなどがたまらないよう、時どき掃除してください。(特に排気口および給気口には注意してください)

#### ●熱交換器のお手入れ

上部循環口の湯止めキャップをはずし、水道のホースの先を上下交互に入れ、水を勢いよく出して、熱交換器内を洗ってください。

(熱交換器内には使用中の湯あかが付着します。)  
(半年に1回程度お手入れを行なってください。)



### ■故障・異常の見分け方と処置方法

現象 原因	原因										処理方法	参照ページ
	パイロットバーナーに点火しない	パイロットバーナー(たね火)が保持しない、またはリモコンハンドルから手を離すと消火する	メインバーナーに着火しない、しにくい	使用中に消火する	異常な音をたてて燃える	沸き上がりが遅い	かま鳴りがする	ガスのおいがする	消火しない	点火操作が重い		
ガス元せんが閉まっている	*										ガス元せんを開ける	6
ゴム管のつぶれ、折れ、曲がり	*		*	*	*						ゴム管のつぶれ、折れ、曲がりをなおす	1
ガスが無い(LPガス用)	*		*	*	*	*	*				販売店に連絡する	—
ガス圧が適切でない	*	*	*	*	*	*	*				販売店・ガス会社に依頼する	—
リモコンハンドルの開き不足	*	*	*		*						全開にする	6
点火装置の故障	*								*		販売店に依頼する	—
使用ガスと器具の銘板が不一致	*		*	*	*						販売店に連絡する	1
ガス管の中に空気が残っている	*										点火操作を繰り返す	6
器具せんの故障	*						*	*	*		販売店に依頼する	—
リモコンハンドルの保持不足		*	*								十分保持する	6
パイロット安全装置の故障	*		*						*		販売店に依頼する	—
空だき安全装置の故障	*		*									
過熱防止装置の作動	*		*									
ワイヤの張りすぎ										*		
給排気口の詰まり									*			7
循環パイプ内に物が詰まっている							*				販売店に相談する	—
かま本体が傾いている							*				販売店に依頼する	5
ゴム管のひび割れ・穴あき							*				新しいゴム管と交換する	2
ゴム管の抜け、接続不完全							*				ゴム管の接続を確実にする	2
ガス元せんの損傷							*				販売店・ガス会社に連絡する	—

### ■長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は、ほこりや雨などがかからないように袋などでおおってください。また再使用するときは、必ず袋などを取ってご使用ください。(そのまま使用しますと事故の原因になります)

### ■仕様

品 種 名	ガスふろがま			
型 式 の 呼 び	GF-601			
種 類	外がま：屋外設置式ガスふろがま、排気筒式ガスふろがま			
点 火 方 式	圧電点火装置			
外 形 寸 法	高さ602mm×幅299mm×奥行564mm			
重 量 (本 体)	13.1kg			
循 環 パイプ 取 付 口	φ45mm (外径)			
二 次 排 気 筒 径	φ120mm (内径)			
基 準 浴 そ う	300ℓ			
安 全 装 置	パイロット安全装置・空だき安全装置・過熱防止装置			
付 属 品	リモコン(1式)・接続ゴム(2コ)・接続バンド(4本)			
使用ガス 使用ガスグループ	型 式 名	1時間当たりのガス消費量	ガス接続口	
都 市 ガ ス 用	4 A	GF-601(G)	8500kcal/h	φ13mm ガス用ゴム管
	4 B		8600kcal/h	
	4 C		9000kcal/h	
	5 A		10700kcal/h	
	5 A N		10210kcal/h	
	5 B		10600kcal/h	
	5 C		10300kcal/h	
	6 A		11400kcal/h	
	6 B		11300kcal/h	
	6 C		11100kcal/h	
	7 C		11500kcal/h	
	1 1 A		11100kcal/h	
	1 2 A		11500kcal/h	
1 3 A	12000kcal/h			
L.P ガス 用	GF-601(P)	1.0kg/h	φ9.5mm ガス用ゴム管	